

# 米不足

知事あてに申入れ



## 主食の米 安定確保へ緊急対応を

近くのスーパーにはない

入荷は未定

これまでより高くなっている

米の在庫が不足し、販売価格も高騰。県内でも店頭からお米が消え、買えない、食べられない深刻な事態です。

この間、米の消費が増える傾向が続いているにもかかわらず、政府は、主食米の生産量を減らしてきました。多くの国で行なわれている価格保障・所得補償によって農家の収入を支える政策もとらない政府の責任は重大です。

### 申し入れ事項

- ◆米不足の実態・実情を把握し、関係者の声を聞く。
- ◆政府備蓄米等の活用、生産者団体や流通・小売業者と協力し店頭に必要な米が出回るよう、政府に緊急対策を求める。
- ◆県独自に主食用米の価格保障・所得補償制度を確立し、農業者が安心して生産が続けられる条件を整え、作付面積を大幅に増やす。
- ◆子ども食堂等への政府備蓄米の無償交付の運用改善。申請の相談窓口設置など支援体制を整える。

### 生産量をふやす農業政策への転換を

日本共産党県議団（さいとう和子党県副委員長同席）の申し入れに対応した前田敏也県農林水産部長は「品薄なのは実感している。あるところ、ないところがある」とし、「流通状況の詳細はつかめていない」のべました。また県は「子ども食堂から困っているという声は聞いていない」「消費者の心理で一部の人が買いだめしているのではないか」などと答えました。



県議団は「一瞬でも主食を買えないのは重大だ。行政の責任で確保を」「価格高騰が低収入家庭等に打撃を与えている」と訴えました。そして、有機米生産を支援している、いすみ市の取り組みにふれ「長年の減反、米価下落による離農などの弊害は明らかだ」と指摘。「生産量を増やす農業政策にかじを切るべきだ」と強調しました。

日本共産党

Japanese Communist Party